<table>
<tr><td>科目名
Subject</td><td colspan="2">フェイシャルエステⅣ
Facial EstheticsⅣ</td><td>教員名</td><td colspan="2">エステチーム</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>単位</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>必修／選択</td><td>必修</td><td>授業形態</td><td>実習</td><td>時間</td><td>60時間</td></tr>
<tr><td>実践的教育</td><td colspan="5">○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">主な学習効果</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力</td><td>表現力</td><td>主体的行動力</td><td>ホスピタリティ・
コミュニケーション力</td></tr>
<tr><td>◎</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td><td>○</td></tr>
<tr><td>科目の概要</td><td colspan="5">皮膚の基礎知識とフェイシャルエステティックにおける電気機器の効果、禁忌事項、使用方法を学ぶ。さらに上記を習得したうえでモデルにあったメニュー組み立てのためのカウンセリング方法を実施できる。</td></tr>
<tr><td>授業の目標</td><td colspan="5">今まで学んだことを基に、季節や年齢ごとの肌トラブルや、その改善のための効果的なフェイシャルエステティックトリートメントとそれぞれの悩みや要望になったホームケアアドバイスを学ぶ。本科目を履修することにより、上級試験における皮膚科学、実技試験における正しい手技や化粧品使用や選択を習得し、実践できる。</td></tr>
<tr><td>時間外学習
（予習・復習）</td><td colspan="5">授業で学んだことをウィッグやモデルを使いながら復習する。なお、各回の復習には概ね６０分～９０分程度行い、次回の授業の際に技術が戻らないように定着させておくこと。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">教科書・教材</td><td>教科書</td><td colspan="4">日本エステティック協会テキスト</td></tr>
<tr><td>教材</td><td colspan="4">フェイシャル用教材、講師作成資料</td></tr>
<tr><td>使用設備・備品</td><td colspan="4">フェイシャル室</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">評価方法</td><td colspan="5">平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む）
試験80%</td></tr>
<tr><td colspan="5">なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学生へのフィードバックの方法</td><td colspan="5">個別に実地指導を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>履修上の注意</td><td colspan="5">授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は、欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。エステティック基礎理論Ⅲ、フェイシャルエステⅡ・Ⅲ、ボディエステⅡ・Ⅲの単位を取得しなければ履修できません。</td></tr>
<tr><td>本科目履修と関連する資格</td><td>資格名</td><td colspan="4">なし</td></tr>
</table>

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	フェイシャル 上級皮膚科学①（皮膚構造）を学ぶ	協会上級試験、ＡＥＡ認定試験で出題される皮膚に関する内容を理解し述べることができる。	教科書の皮膚の構造・役割を理解しノートにまとめておく
第２回	フェイシャル 上級皮膚科学②（皮膚役割）を学ぶ	協会上級試験、ＡＥＡ認定試験で出題される皮膚に関する内容を理解し、述べることができる。	教科書の皮膚の構造・役割を理解しをノートにまとめておく。
第３回	フェイシャル化粧品学①カルテ記入の方法を学ぶ	試験に対応したカウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得し、実践できる。	カルテ記入の項目を把握し理論編Ⅱのカウンセリングを読み不明な部分を書出し、授業で確認できる準備を行う。
第４回	フェイシャル化粧品学①カルテ記入の方法を学ぶ	試験に対応したカウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得し、実践できる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚えノートにまとめてくる。
第５回	フェイシャル化粧品学②肌別対応を学ぶ	肌別に対応した化粧品を選択することができる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚え、季節や生活習慣による肌の違いを調べてまとめておく。
第６回	フェイシャル化粧品学②肌別対応を学ぶ	肌別に対応した化粧品を選択することができる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚え、季節や生活習慣による肌の違いを調べてまとめておく。
第７回	フェイシャルカウンセリング～仕上げを学ぶ	今までに習得した手順、6手技、電気機器選択を的確に行うことができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項を復習し、不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第８回	フェイシャルカウンセリング～仕上げを学ぶ	今までに習得した手順、6手技、電気機器選択を的確に行うことができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項を復習し、不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第９回	肌質判断 上級カウンセリングを学ぶ	的確な肌質判断を行い、肌対応したメニューを組み立てられる。	皮膚の構造・役割を理解し肌の分類によるメニュー組み立てを30分のカウンセリングでできるよう反復練習する。
第１０回	肌質判断 上級カウンセリングを学ぶ	的確な肌質判断を行い、肌対応したメニューを組み立てられる。	皮膚の構造・役割を理解し肌の分類によるメニュー組み立てを30分のカウンセリングでできるよう反復練習する。
第１１回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ①	肌質判断から仕上げまで的確に行うことができる。	カウンセリングからマッサージ、仕上げまで不得意なところを確認しながら反復練習する。
第１２回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ①を学ぶ	肌質判断から仕上げまで的確に行うことができる。	カウンセリングからマッサージ、仕上げまで不得意なところを確認しながら反復練習する。
第１３回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ②（肌別対応を学ぶ）	肌質判断から仕上げまでモデルにあわせて的確に行うことができる。	カウンセリングからマッサージ、仕上げまで不得意なところを確認しながら反復練習する。
第１４回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ②（肌別対応を学ぶ）	肌質判断から仕上げまでモデルにあわせて的確に行うことができる。	カウンセリングからマッサージ、仕上げまで不得意なところを確認しながら反復練習する。
第１５回	アフターカウンセリング	トリートメント後のアドバイスを的確に時間内に行うことができる。	モデルの肌別や悩みにあわせたホームケアやサロンケアの授業で理解できなかった部分について復習する。

授業計画						
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考	全て4行まで		
第１６回	アフターカウンセリング	トリートメント後のアドバイスを的確に時間内に行うことができる。	モデルの肌別や悩みにあわせたホームケアやサロンケアの授業で理解できなかった部分について復習する。	授業内容『あと49』文字以内	到達目標『あと29』文字以内	予習･復習･備考『あと16』文字以内
第１７回	フェイシャル 上級皮膚科学③（皮膚疾患を学ぶ）	協会上級試験、ＡＥＡ認定試験で出題される皮膚に関する内容を理解し述べることができる。	協会上級試験、ＡＥＡ認定試験例題集の皮膚科学項目の不明な部分を書出し、授業で確認できる準備を行う	授業内容『あと37』文字以内	到達目標『あと18』文字以内	予習･復習･備考『あと16』文字以内
第１８回	フェイシャル 上級皮膚科学④（季節ごとの対応を学ぶ）	協会上級試験、ＡＥＡ認定試験で出題される皮膚に関する内容を理解し、述べることができる。	協会上級試験、ＡＥＡ認定試験例題集の皮膚科学項目の不明な部分を書出し、授業で確認できる準備を行う	授業内容『あと34』文字以内	到達目標『あと17』文字以内	予習･復習･備考『あと16』文字以内
第１９回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ～アフター①（肌分析を学ぶ）	肌質判断から仕上げ、アフターまで的確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが肌に及ぼす影響を復習し、時間内に技術を行えるよう反復練習する。	授業内容『あと29』文字以内	到達目標『あと32』文字以内	予習･復習･備考『あと20』文字以内
第２０回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ～アフター①（肌分析を学ぶ）	肌質判断から仕上げ、アフターまで的確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが肌に及ぼす影響を復習し、時間内に技術を行えるよう反復練習する。	授業内容『あと29』文字以内	到達目標『あと32』文字以内	予習･復習･備考『あと20』文字以内
第２１回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ～アフター②（肌別対応を学ぶ）	肌質判断から仕上げ、アフターまでモデルにあわせて的確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが肌に及ぼす影響を復習し、時間内に技術を行えるよう反復練習する。	授業内容『あと28』文字以内	到達目標『あと24』文字以内	予習･復習･備考『あと20』文字以内
第２２回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ～アフター②（肌別対応を学ぶ）	肌質判断から仕上げ、アフターまでモデルにあわせて的確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが肌に及ぼす影響を復習し、時間内に技術を行えるよう反復練習する。	授業内容『あと28』文字以内	到達目標『あと24』文字以内	予習･復習･備考『あと20』文字以内
第２３回	フェイシャルカウンセリング～仕上げ～アフター③（時間配分を学ぶ）	肌質判断から仕上げ、アフターまで時間内に的確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが肌に及ぼす影響を復習し、時間内に技術を行えるよう反復練習する。	授業内容『あと28』文字以内	到達目標『あと28』文字以内	予習･復習･備考『あと20』文字以内
第２４回	実技模擬試験①（傾聴方法を学ぶ）	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが肌に及ぼす影響を復習し、ホームケアアドバイスまで時間内に技術を行えるよう練習する。	授業内容『あと44』文字以内	到達目標『あと27』文字以内	予習･復習･備考『あと10』文字以内
第２５回	実技模擬試験②（接客態度を学ぶ）	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが肌に及ぼす影響を復習し、ホームケアアドバイスまで時間内に技術を行えるよう練習する。	授業内容『あと44』文字以内	到達目標『あと27』文字以内	予習･復習･備考『あと10』文字以内
第２６回	実技模擬試験②（接客態度を学ぶ）	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが肌に及ぼす影響を復習し、ホームケアアドバイスまで時間内に技術を行えるよう練習する。	授業内容『あと44』文字以内	到達目標『あと27』文字以内	予習･復習･備考『あと10』文字以内
第２７回	実技まとめ①（口頭試問の内容を学ぶ）	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項・アフターケアなどを授業でできなかったところを復習する。	授業内容『あと42』文字以内	到達目標『あと32』文字以内	予習･復習･備考『あと20』文字以内
第２８回	実技まとめ①（口頭試問の内容を学ぶ）	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項・アフターケアなどを授業でできなかったところを復習する。	授業内容『あと42』文字以内	到達目標『あと32』文字以内	予習･復習･備考『あと20』文字以内
第２９回	実技まとめ②（口頭試問の模範解答を学ぶ）	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項・アフターケアなどを授業でできなかったところを復習する。	授業内容『あと40』文字以内	到達目標『あと32』文字以内	予習･復習･備考『あと20』文字以内
第３０回	授業のまとめ	試験に向けて改善点を理解し、今後の学習に活用できる。	皮膚科学・電気機器学など履修した内容を正しく理解し、モデルに時間内で施術ができるように練習する。	授業内容『あと54』文字以内	到達目標『あと34』文字以内	予習･復習･備考『あと16』文字以内